



黒肥地小学校
柳野分校通信 VOL. 9
平成29年1月27日発行

18日(水)避難訓練をしました



18日(水)に避難訓練をしました。今回の訓練は地震と地震による火災を想定した訓練でした。

子どもたちは「地震発生。児童のみなさんは、ゆれがおさまるまで、机の下で身を守ってください。」と放送が鳴ると、一瞬緊張した様子でしたが、すぐに机の下に隠れ、身の安全を確保することができました。その後、先生の指示を聞いて、素早く安全に運動場へ避難することができました。運動場では、消防士の方の話を聞きました。火災の発生状況や熊本地震が起きたときの様子など、様々なことを教えていただきました。

その後、消化器を使った実技訓練を行いました。子どもたちと職員が参加し、消化器の使い方について、よく学ぶことができました。

また、校長先生からは、「机の下に逃げ込んだ後に、机のあしを両手で押さえて動かないようにすることで、自分の身を守ることができること」や、普段の生活の中で「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」場所を見つけておくことなど、大切な話をしてもらいました。

ポータースモーク体験では、煙（訓練に使う吸っても害のないもの）でいっぱいになった教室の中を歩きました。子どもたちは「うわっ、なんにも見えない。」「今、どこにおっとかな。」など発言し、火災によって煙が発生したときの避難の難しさを感じているようでした。子どもたちは、お話を聞き、体験活動を通して、避難の大切さや難しさについてしっかりと学ぶことができました。



9日(月)どんどや

9日(月)の成人の日に、黒肥地小おやし・かあちゃんの会主催の「どんどや」があり、分校の子どもたちも参加をしました。

子どもたちは、高さ5mほどもある巨大などんどやに「大きい。」と驚いた様子でした。1年生は、涼真くんが点火を行いました。2mくらいある竹の先端に、布を巻いた棒をもち、先端に火をつけて、点火をすることができました。子どもたちは、大きく燃え上がる炎や、その煙が天まで高く上がっていく様子を見ながら、1年間の健康を願いました。



最後に残り火でお餅やお芋を焼いて、食べました。「熱いっ」と言いながらも、顔をほころばせ、たくさんの友だちと一緒に焼きたての味を堪能しました。

おやし・かあちゃんの会及び関係者の皆様のおかげで、今年も、日本古来から伝わる伝統行事を体験することができました。ありがとうございました。

